

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況が続く中、京都府の緊急事態宣言も9月30日まで延長されました。今回の第5波は、ウイルスが「デルタ株」に置き換わり、子どもの感染も7月の状況の約6倍になるなど非常に多くなってきました。

そこで、学校では、第1学期の感染防止対策を継続させるとともに以上に、休み時間等を工夫し子ども同士の「密」を避ける対策を講じています。

感染防止対策としましては、「マスク着用」「手洗い」「手指消毒」が大切ですが、飛沫による感染を防ぐためには、まず、「マスクのサイズ」「マスクの素材」そして、「正しいマスク着用」が大切になります。

厚生労働省新型インフルエンザ専門家会議は、「症状のある人が、咳・くしゃみによる飛沫の飛散を防ぐために、不織布(ふしょくふ)製マスクを積極的に着用することが推奨される(咳エチケット)」としています。

学校といたしましては、お子様の「不織布マスク」の着用を推奨しています。

以下に「マスクの素材別の効果比較の表」をPDFファイルで貼り付けましたのでご参考にしてください。

マスクの素材別の効果比較.pdf

17:13

第2学年の図画工作科では以下の目標で「おはなしの絵」の学習を進めています。

【目標】

「読んだり聞いたりした物語から想像を広げ、いろいろな形や色などを捉えながら、表し方を工夫して絵に表す。」

今日、2年2組の教室に行きますと、写真のように下絵を机の前に貼って、タブレットを使って、さらにより作品に仕上げるために下絵の修正をしていました。

タブレットには、担任の佐藤先生が、物語に関係がある「動物」や「木」などのイラスト集を貼り付け、そこから描きたい素材を選ぶことができるように事前準備されていました。子どもたちは、自分が描いた1枚目の下絵を見ながら、「書き換えたいもの」「付け加えたいもの」をイラスト集から選び、下絵の修正に集中して取り組んでいました。



担任の佐藤先生の支援により、自分の絵をよりよい作品にしていくために修正を加えていくという粘り強く自己調整する「主体的な学び」が子どもたちの中に広がっていました。

16:31

2021/09/09

第4学年「モジュール授業」タブレットを活用した「指書き」から

  | by 宇治田原町立宇治田原小学校
[サイト管理者](#)

町内2小学校で取り組んでいます「モジュール授業」も4年目を迎えました。国語科の新出漢字を学習する時間、既習の漢字を習熟する時間として毎日10分間行っています。第1学年の児童にとっては、第1学期は新しく学習する「平仮名」の学習から始め、「平仮名」「片仮名」の学習が終了すれば他学年と同様に漢字の学習を進めていきます。

今日、4年2組の教室に行きますと、「変」と「種」の2文字を学習していました。

学習の手順は、以下のとおりで、「宇治田原スタンダード」と名付けています。

- ①読みや使い方の音読（モジュールプリントを活用）
- ②ポイント指導（「はね」や「はらい」など、デジタル教科書活用）



②ポイント指導の様子

- ③「空書き」：2回（筆順確認と空書き2回）デジタル教科書で示される書き順を見ながら2本指で



③「空書き」の様子

- ④「指書き」：30秒（タブレットの「指書きシート」を活用）



④「指書き」の様子

⑤「鉛筆書き」：丁寧に、早くできたら後1文字、それでも時間があれば「指書き」



⑤「鉛筆書き」の様子

⑥「たしかめ」：練習した新出漢字が正確に書けるか、ミニテスト

今年度、GIGAスクール構想による一人一台タブレットが実現しましたので、「指書きシート」をタブレット内に画像として取り入れ、写真のようにタブレット上で「指書き」をしています。

16:33

2021/09/08

[第1学年算数科「10より大きい数」の
学習から](#)

[Twitter](#) | [Facebook](#) | by [宇治田原町立宇治田原小学校サイ
ト管理者](#)

第1学年の算数科では、第2学期最初の単元「10より大きい数」において、以下の目標で学習をしています。

【単元の目標】

「20までの数について、よみ方、かき方、数の系列、大小を理解し、「10といくつ」という数構成の考え方にもとづいて加減計算をしたり数を表したりするとともに、数に親しみながら学ぶ態度を養う。」

今日、1年2組の教室に行きますと、「20までの数の系列」について学習しました。

第1学年で学習する「正の整数」は、「0」を左端にし1ずつ増えていく様子を「数直線」に表します。しかし、1年生に「数直線」ということばは難しいので、「かずの線」と教科書では表現しています。

今日は、「かずのならびかたをしよう」というめあてで、「数の線」ということばと、「数の線」に数字がどのように書き表されているかを考えることを通し、「数の系列」についての理解を深めました。



学習のめあてを全員で声を出して読み確かめました

担任の田中先生は、学習のめあてを全員で声に出して読んで確かめた後、黒板に示された「数の線」を見て気づいたことを子どもたちに発表させていました。「1, 2, 3・・・と大きくなっていく。」「黄色で書いた5, 10, 15, 20は、5ずつ大きくなっている。」など、子どもたちの発表で全員が少しずつ数の並び方について理解していきました。



黒板の前に出て自分の考えを発表する様子

その後は、教科書の問題を1問ずついいいに全員で考えていきました。



問題の答えを発表しようと手を上げる子どもたち1

電子黒板のデジタル教科書で答え合わせ



問題の答えを発表しようと手を上げる子どもたち2

この時間の学習で、0～20までの数直線上の数を読んだり、表したりすることができるようになりました。

2021/09/07

**第5学年「外国語科」“can”の使い方の
学習から**by 宇治田原町立宇治田原小学校サイ
ト管理者

新学習指導要領により、第5、第6学年で実施している外国語科。

本日、5年2組の教室に行きますと、外国語専科教員 中林 伸子先生とALTのディアナ・ニコル・米津先生のチーム・ティーチングにより、Unit 4 “He can bake bread well.”の学習を行っていました。

Today's goal (きょうのめあて) を、「canの使い方を知ろう」とし、今日の学習で使用する単語等を、絵カードを参考にディアナ先生の発音に続いて子どもたちがリピートしていきま



絵カードを参考にディアナ先生の発音を聞き学習で使用する英語をリピートする子どもたち

その後は、中林先生が、主語になる人物の英語表現を指導。デジタル教科書の音声を聴いてリピートしていきま



主語となる人物の発音練習

【デジタル教科書の音声による】

子どもたちの英語による表現活動は、時間の後半にすることとし、その後は、ワークシートに書き込みをする形で、学習した「canの使い方」「主語となる人物」について学習していきま



教科書に沿って作成されているワークシートに学習した内容を書き込み理解を深める子どもたち

子どもたちは、ディアナ先生の発音やデジタル教科書の音声をよく聴き取って発音していました。また、ワークシートによる学習もどの子どももしっかりと取り組んでいました。

16:45

2021/09/06

**第1学年「プログラミング学習」か
ら**

  | by 宇治田原町立宇治田原小学校 サイト管理
理者

今日は、宇治田原町教育委員会で契約していただいているICT支援員 山口 玲子（やまぐち れいこ）さんが来校される日ということもあり、第1学年で「プログラミング学習」を行いました。

1年1組の教室に行きますと、「ビジュアルプログラミング言語 *Viscuit*（ビスケット）」を使った学習が行われていました。

「ビスケット」は、絵でプログラムを作り、実行すると絵が動くというプログラミング教材です。よって、ICT支援員 山口先生の説明をしっかりと聞いて、学習を進めると自然と「プログラミング」の楽しさを体験できます。

「ビスケット」を使うと、アニメーションやゲーム、動く絵本などを作ることができますが、今日は、アニメーションを作る学習をしていました。



ICT支援員 山口先生の説明

写真のように、動かしたいもの（魚、カニ、イカ）を画面に移動させます。そして、画面横のスペースに「めがね」を移動し、「めがね」の左右のレンズに動かしたいものを入れます。（その時に、左右でレンズ内の位置を横にずらすと横に動き、縦にずらすと縦に、縦・横にずらすと斜めに移動するプログラムができます。）



プログラミングした魚の動きを見る子



カニの動きをプログラミングする様子



イカの動きをプログラミングする様子



プログラミングし終わった生き物の
動きを確かめる子

「ビスケット」は基本的にこの「めがね」で全ての動きを作るそうです。子どもたちは、説明を聞きながら「ビスケット」で思い思いにプログラミングを行い、魚・カニ・イカを動かしていました。

その後、「おばけ」「パックマン」の動きもプログラミングし、「ビスケット」によるプログラミングへの理解を深めていました。